

かにそのときは代金だいきんはいただきましたのあとでかんじようしますと、金かねがあわず、そのかわりに木の葉はが二まい入はいっていただけなので、家内中かないじゅうでもめていたところでした。私もあなたも、こりや、きつねにばかにされたんでしようね。」と、主人しゅじんはたんものをみながらいいました。

心のやさしい長兵衛ちやうべゑは、「それでは、このたんものをおかえしいたしましょう。」というと、「めつそうもない。これはきつと利口りこうなきつねのしたことでしょうから、そんなことしたらきつとばちがあたります。そのたんものは、あなたにさしあげますから、どうぞあなたのおすきなようにお使いつかください。」と、その店の主人みせしゅじんにいわれ一生いっしやうかかってもつかいきれないほどのたんものと交こうかんしてもらいました。

そして、きつねたちが、「わたしたちは、となりきんじよに、けつして悪いわることはしませんから、どうぞ、わたしたちを鉄てつぼうでうたないでください。そのお礼れいとしてたんものをさしあげますから。」と、長兵衛ちやうべゑにいつているようにおもえ、いご、わるさをしないかぎりけつして、鳥とりやけだものに鉄てつぼうをむけなかつたそうです。